

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年4月16日（水）

2 確認箇所

増設雑固体廃棄物焼却設備（図1）

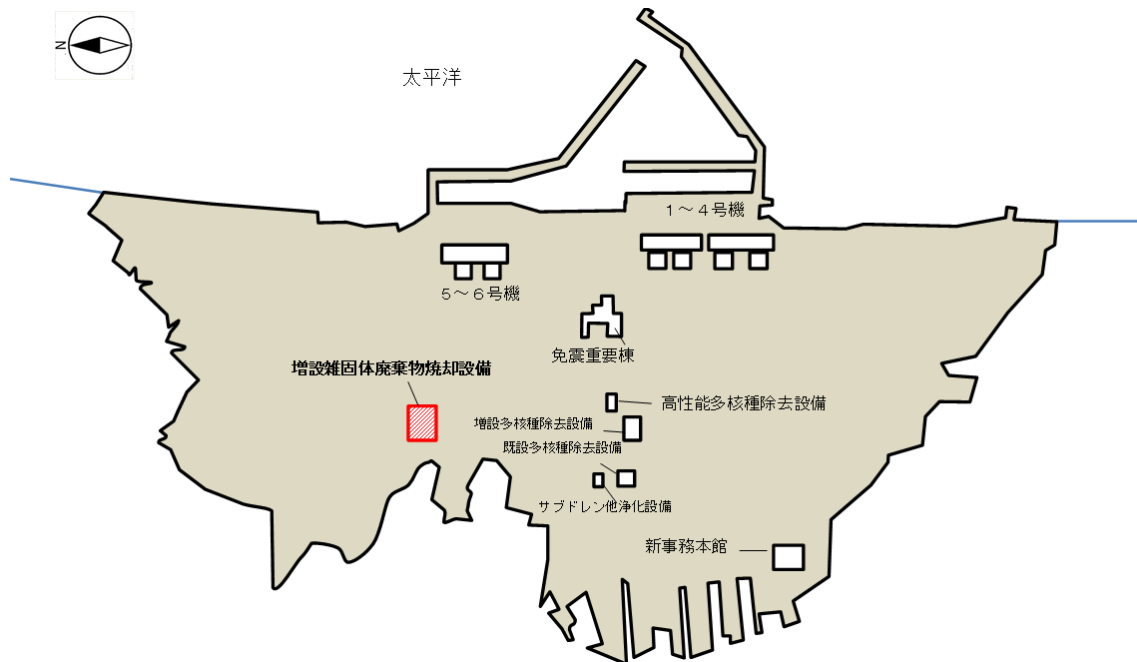
3 確認項目

増設雑固体廃棄物焼却設備施設復旧に向けた作業状況

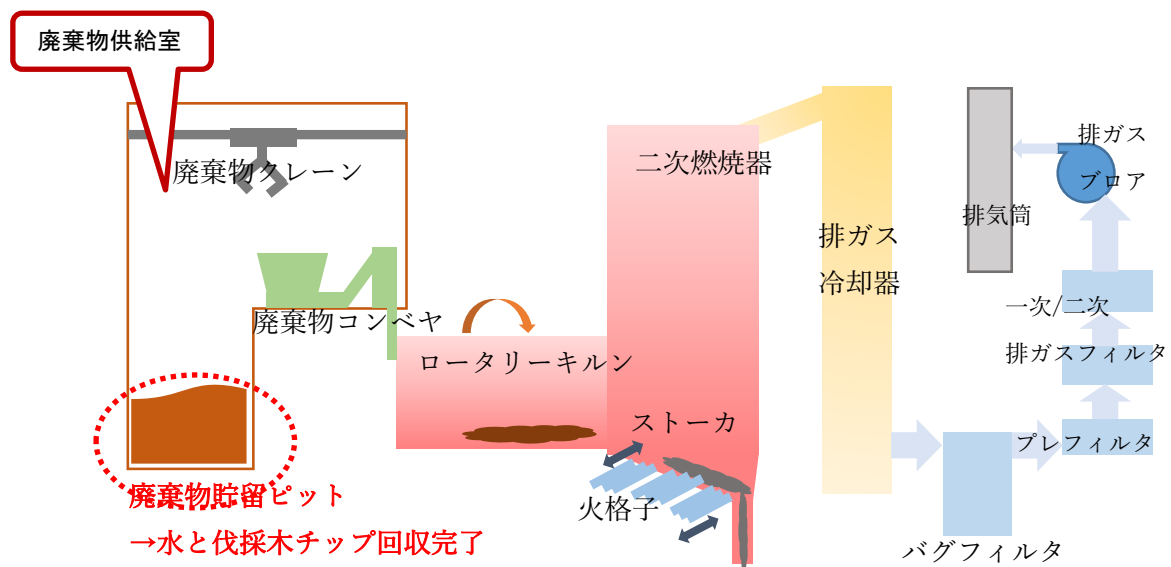
4 確認結果の概要

令和6年2月22日に増設雑固体廃棄物焼却設備の建屋内にある廃棄物貯留ピット（以下「ピット」という。）に貯留している伐採木チップから水蒸気・ガスが発生したことにより火災報知器が作動した。伐採木チップへの散水により水蒸気・ガスの発生は収束したものの、ピットが水を貯めることを想定した設計ではなかったため、ピット壁面からの漏えいが確認された（ただし、漏えいは管理区域内にとどまっている）。このことから、同年3月22日からピット内の水と伐採木チップの回収作業が行われ、同年12月24日に回収が完了し、復旧工事が令和7年3月から開始されていることから、ピット及び周辺設備の状況を確認した。（図2）（前回確認：[令和7年2月5日](#)）

- ・クレーン操作室からピット内の状況を確認したところ、作業は行われていなかったが、作業用の足場が組まれていた。（写真1）
- ・施設の壁や床にタール状の物質が付着している箇所があったが、排ガス冷却器やロータリーキルンなど主要設備にタール状の物質の付着は見られなかった。（写真2）
- ・復旧工事のため主要設備は停止していたが、換気空調設備は稼働しているため、稼働状況を確認したところ、確認した範囲において異音や異常な振動などはなかった。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(図2) 増設雑固体廃棄物焼却設備の模式図(東京電力資料を参考に作成)



(写真1)
クレーン操作室から確認したピット内の
状況



(写真2-1)
1階フロアの壁の状況



(写真2-2)
排ガス冷却器の外観



(写真2-3)
ロータリーキルン下部の外観



(写真3)
換気空調設備における排風機Aのポン
プ
※排風機は3台設置されており、2
台が稼働していた。

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常な値は確認されなかった。